

（何ができるようになればよいか）  
近世の特色とその変容を、産業や政治、対外関係を踏まえて、歴史的事象を根拠に説明することができる。

【両単元をつなぐ問い】 A⇒Bへ  
江戸幕府はどのようにして平和で安定した社会を築き、また、それにも関わらずなぜ滅亡したのだろうか？

【単元を貫く問い】 歴史的分野A  
江戸幕府はどのようにして平和で安定した社会を築いたのだろうか。

【江戸幕府の滅亡】 歴史的分野B  
産業構造の変化による経済力の弱体化と諸藩の経済力の強化により、幕府と諸藩との経済格差がなくなってきた。さらに、欧米列強の東アジア進出により、鎖国体制がゆらぎ、幕府の軍事力が相対的に弱体化してきた中で雄藩が経済力と軍事力をつける中で、幕府が滅亡に向かっていった。

【単元を貫く問い】 歴史的分野B  
平和で安定した社会を築いた江戸幕府はどのようにして滅亡していったのだろうか。

江戸幕府はどのようにして平和で安定した世の中を作り上げた？

- 【政治の面より】
  - 武力による制圧ができる絶対的な軍事力があつた。
  - 執政官が代わりしても崩れない政治のしくみが作られた。
  - 武断政治から文治政治への移行がなされた。
- 【対外関係の面より】
  - 幕府を中心とする限定的な海外政策を行った。
  - 貿易の利益独占を実施した。
- 【産業の面より】
  - 民衆の生活が安定する経済体制がつくられた。
  - 身分を決めた支配社会構造が強化された。

江戸幕府が滅亡したのはどのようなことが原因だったのか

- 【対外関係の面より】
  - 欧米列強によるアジア進出と対日開国要求があつたこと。
  - 開国による国内の混乱があつたこと。
- 【産業の面より】
  - 貨幣経済の浸透により、農業を基本とする社会で産業が多様化してきたこと。
  - 産業の発展により諸藩が財政の立て直しに成功したこと。
- 【政治の面より】
  - 産業面での変化に対応できず、財政難を悪化させたこと。
  - 幕府の力が衰えた中で、新たな世の中を希求し、尊王攘夷運動が激化したこと。

【平和で安定した世を築いた江戸幕府】 歴史的分野A  
江戸幕府は経済力を土台とした軍事力を背景とし、諸藩や中世の権門の経済力や軍事力を巧みに削ぐ法令をだし、周りとの経済力と軍事力を相対的に強化することによって、支配体制を確立し、平和で安定的な世の中をつくりだした。

【武士による全国支配の完成】  
中世まで権威を持っていた権門も含めた統制を行い、また、限定的な交易を幕府が主導で行うことで、利益や情報を独占し、対外関係をも統制する中で、全国支配を安定させた。また、身分体制を確立し、農民を統率する中で、農村からの年貢を基盤としながら経済を支え、平和で安定した世の中を築き上げた。

【天下泰平の世の中】  
戦乱のない、平和で安定した時代が訪れ、人口増加に伴い、新田開発などに力を入れ始め、米の生産量も飛躍的に増加し、人々の生活も安定していった。さらに、各地で特産物も生産され始め、領外へ売られるようになると、商業発達の原動力になり、産業と交通の発達につながり、都市の成長を促すようになった。その結果、経済的にゆとりを持つようになった商人町人を担い手とする文化が生み出され、平和な世の中が浸透していった。

【社会の変化と幕府の対策】  
急激に商業が発達し、庶民の経済活動が活発になり、庶民までもが文化を楽しめる世の中へとなっていった。一方で、幕府の財政は悪化する中で、農業や商業を重視する改革に着手するも、百姓一揆や打ちこわしの発生が増加したり、貨幣経済の発達によって貧富の差が生まれやすくなる中で、社会問題の解決に至らず、幕藩体制が揺らぎ始めた。

【江戸幕府の成立と統制】  
幕府は強力な軍事力・経済力を背景に、大名や朝廷を監視し、統制するしくみを整える一方、藩には独自の統治を認め、幕藩体制を確立した。

【対外関係と対外政策】  
幕府は貿易統制を行う中で、その利益や海外からの情報を独占し、対外関係を統制することで全国支配を安定させていった。また、海外からの使節の来日により、幕府の権威を高めることもできた。

【身分制と農村の様子】  
武士を頂点とする支配構造を確立し、人々の支配を可能にし、全国支配を安定させた。また、身分制の確立により、職分が明確になり、農民が村を共同生活の基盤とし、その農村が幕府や藩の経済を支えることにつながった。

【上方で栄える町人文化】  
商業の発達や都市の繁栄を背景に、経済力をつけた上方の町人が中心となり文化を築き上げるなど、平和な世の中が浸透していった。

【産業や交通網の発達】  
米の生産量増加に伴い、人々の生活が安定し、特産物の生産が各地で行われた。それに伴い、交通網が整備され、全国で特産物の取引が活発になり、金融が発達し、都市や各地の産業の発達につながった。

【産業の発展と貨幣経済】  
急激な商業の発達に伴い、特産物を商品作物として積極的に生産するようになった。その結果、商品作物の取引や手工業の発達により、農村でも貨幣経済が広がり、農民の間でも格差が生じた。

【幕府の政治改革】  
貨幣経済の農村への広がりや自然災害などによる都市や農村の変化により、近世社会の基礎が動揺していく中で、幕府は財政の立て直しと、百姓の要求や飢饉の対策に取り組んだが、失敗に終わり、幕藩体制が揺らぎ始めた。

日本のあり方を見直したり、西洋の知識を取り入れたりする動きが起り、町人や百姓の間でも教育が盛んになり、力をつけた。

松平定信は財政の立て直しや飢饉の対策を行う寛政の改革を行った。一部は成功だったが、一部は失敗に終わった。

田沼意次は年貢だけに頼らず、商業の力を利用して直す改革を進めたが、結果失敗に終わった。

貨幣経済の浸透や飢饉などによる貧富の差の拡大により、百姓一揆や打ちこわしが起り、深刻な問題となっていた。

徳川吉宗は幕府の収入を増やし、実生活に基づく改革を行った。

問屋制家内工業が広がる中で、商品作物の生産が増大した。

特産物が商品作物として栽培されるようになり、その売買する過程で貨幣経済が農村に浸透する中で、農民の貧富の差が広がった。

東西間の取引の増大により、金融が発達した。その中で、利益を独占する株仲間が作られ、商人の力が増大していた。

江戸は政治の中心、京都は古代からの都や文化の中心、大阪は商業や経済の中心として三都が発展した。

交通網の整備により特産物や年貢米があつまる地域で都市が発展した。

五街道などの陸上交通や西回り航路などの水上交通が整備され、特産物が全国で活発に取引されるようになった。

貿易統制による日用品不足や、優れた技術の伝搬、人々の生活の安定に伴う需要の高まりにより、特産物の生産が盛んになった。

急速な人口増加から新田開発や農具の開発に注力した結果、耕地面積と米の生産量が増加し、農民の生活が安定した。

元禄文化を育て上げることができるようになり、上方の町人は豊かな経済力を有した。

人間味あふれる小説や台本が作られたり、芸術性の高い文化が築かれたりと、町人たちの間で親しまれるなど平和な世の中になった。

文治政治への転換で、朱子学が重視され、様々な身分や職業内では、上下の序列が重んじられるようになった。

農村では、村方三役などによる自治や五人組などをつかい、互いに監視させ、年貢の納入に連帯責任を負わせるしくみをつくった。

幕府や藩は農村を基盤として、年貢を徴収し、経済基盤とした。

幕府は武士を支配者として特権を与えた。その武士のもとに、百姓や町人の身分を区別するしくみを整えた。

琉球王国やアイヌの人々との交易は利益を得るためだけでなく、幕府の権威を高めるためにも利用した。

幕府は対外関係を幕府が一元的に統制することで、諸藩が力をつけることができないうようにしていった。

幕府は鎖国体制を完成させ、貿易を統制することで、その利益や海外からの情報を独占した。

国内のキリシタン増加が幕府の支配への脅威にならないために、幕府が貿易を統制し、キリスト教を禁じた。

幕府は貿易の利益を独占するために朱印船貿易を推進した。

藩の支配をする大名を統制するための武家諸法度や中世まで力を持っていた天皇や公家を統制するための禁中並公家諸法度を定めた。

大名が幕府以外の藩の土地と人々を支配する体制を築き、幕府と藩により全国の人々を支配する幕藩体制のしくみが確立した。

全国の頂点に立ち、支配の仕組みを整えた。その中で、大名の力を分散させ、政治支配体制を確立した。

概念的・本質的知識

説明的知識  
原因↓結果

分析的知識  
どのように

分析的・記述的知識

問いの構造図【歴史的分野 単元A】

(何ができるようになればよいか)  
近世の特色とその変容を、産業や政治、対外関係を踏まえて、歴史的事象を根拠に説明することができる。

【両単元をつなぐ問い】 A⇒Bへ  
江戸幕府が平和で安定した世の中を作り出したといえるのはなぜか。また、それにもかかわらず、なぜ滅亡してしまったのだろうか？

【単元を貫く問い】 歴史的分野A  
江戸幕府が平和で安定した世の中を作り出したといえるのはなぜだろう？

【江戸幕府の滅亡】 歴史的分野B  
産業構造の変化による経済力の弱体化と諸藩の経済力の強化により、幕府と諸藩との経済格差がなくなってきた。さらに、欧米列強の東アジア進出により、鎖国体制がゆらぎ、幕府の軍事力が相対的に弱体化してきた中で、雄藩が経済力と軍事力をつける中で、幕府が滅亡に向かっていった。

【単元を貫く問い】 歴史的分野B  
なぜ江戸幕府は滅亡したのだろうか？

- 江戸幕府はどのように平和で安定した世の中を作り上げた？
- 【政治の面より】
    - 武力による制圧ができる絶対的な軍事力があつた。
    - 執政官が代わりしても崩れない政治のしくみが作られた。
    - 武断政治から文治政治への移行がなされた。
  - 【対外関係の面より】
    - 幕府を中心とする限定的な海外政策を行った。
    - 貿易の利益独占を実施した。
  - 【産業の面より】
    - 民衆の生活が安定する経済体制がつけられた。
    - 身分を決めた支配社会構造が強化された。

- 江戸幕府が滅亡したのはどのようなことが原因だったのか？
- 【対外関係の面より】
    - 欧米列強によるアジア進出と対日開国要求があつたこと。
    - 開国による国内の混乱があつたこと。
  - 【産業の面より】
    - 貨幣経済の浸透により、農業を基本とする社会で産業が多様化してきたこと。
    - 産業の発展により諸藩が財政の立て直しに成功したこと。
  - 【政治の面より】
    - 産業面での変化に対応できずに、財政難を悪化させたこと。
    - 幕府の力が衰えた中で、新たな世の中を希求し、尊王攘夷運動が激化したこと。

【平和で安定した世を築いた江戸幕府】 歴史的分野A  
江戸幕府は経済力を土台とした軍事力を背景とし、諸藩や中世の権門の経済力や軍事力を巧みに削ぐ法令をだし、周りとの経済力と軍事力を相対的に強化することによって、支配体制を確立し、平和で安定的な世の中をつくりだした。

【武士による全国支配の完成】 (教科書 P112~125)  
江戸幕府はなぜ安定した全国支配を確立できたのだろうか？

【天下泰平の世の中】 (教科書 P124~133)  
江戸時代になぜ平和な社会を築くことができたのだろうか？

【社会の変化と幕府の対策】 (教科書 P126~129、134~141)  
平和で安定した世の中で、なぜ改革をする必要があつたのか？

【江戸幕府の成立と統制】  
江戸幕府はどのようにして大名や朝廷を支配するしくみをつくつたのだろうか？

【対外関係と対外政策】  
江戸幕府はどのように対外統制を行ったのだろうか？

【身分制と農村の様子】  
江戸時代の身分制は、社会にどのような影響をもたらしたのだろうか？

【上方で栄える町人文化】  
どのようにして町人たちが担い手となる文化が栄えたのだろうか？

【産業や交通網の発達】  
江戸時代の産業と交通網はどのように関係し、発達していったのだろうか？

【産業の発展と貨幣経済】  
急速な産業の発達に伴い、農村社会にどのような変化があつたのだろうか？

【幕府の政治改革】  
幕府の政治改革は幕藩体制にどのような影響をもたらしたのだろうか？

- 幕府内のしくみは、どのようなしくみになったのだろうか？ 【幕藩体制の始まり】
- 幕府は全国支配のためにどのようなしくみを整えたのだろうか？ 【幕藩体制の始まり】
- 幕府は全国統制のために何をしたのだろうか？ 【幕藩体制の始まり】
- 幕府はすすめた朱印船貿易とは何だろうか？ 【朱印船貿易から貿易統制へ】
- 幕府は対外政策の中で琉球王国や朝鮮、アイヌとの関係をどのように利用したのだろうか？ 【琉球王国とアイヌの人々への支配】
- 鎖国体制下で幕府が主導となり貿易統制を行った目的は何だろうか？ 【四つに絞られた貿易の窓口】
- キリスト教への脅威に対して幕府は何をしたのだろうか？ 【朱印船貿易から貿易統制へ】
- 幕府はどのような身分制を作つたのだろうか？ 【身分制の下での暮らし】
- 幕府や藩の経済基盤が農村といわれるのはなぜだろうか？ 【身分制の下での暮らし】
- 農村ではどのようなしくみをつくり、農村社会を維持したのだろうか？ 【身分制の下での暮らし】
- なぜ朱子学が重んじられたのだろうか？ 【身分制の下での暮らし】
- どのような小説や芸術が盛んになったのだろうか？ 【上方で栄えた町人の元禄文化】
- 元禄文化はなぜ町人たちが担い手になることができたのだろうか？ 【上方で栄えた町人の元禄文化】
- 人口増加と農民生活の安定にはどのような関係があるのだろうか？ 【安定する社会と諸産業の発達】
- 特産物の生産が盛んになる背景には何があつたのだろうか？ 【安定する社会と諸産業の発達】
- 交通網の整備が産業にどのような影響を与えたのだろうか？ 【各地を結ぶ陸の道・海の道】
- 交通網の整備が特産物の集まる地域にどのような影響を与えたのだろうか？ 【各地を結ぶ陸の道・海の道】
- 地域の発達の中でどのような都市が現れたのだろうか？ 【各地を結ぶ陸の道・海の道】
- 産業の発展が農村に浸透し、農村はどのように変わったのか？ 【貨幣経済の広まり】
- 産業の発展により、貨幣経済が浸透した農村ではどのような影響があつたのだろうか？ 【貨幣経済の広まり】
- 交通網の発展、都市の発展、産業の発展により、どのような人が力をつけたのだろうか？ 【各地を結ぶ陸の道・海の道】
- 徳川吉宗はどのような改革を行ったのだろうか？ 【繰り返される要求と改革】
- 田沼意次はどのような改革を行ったのだろうか？ 【繰り返される要求と改革】
- 松平定信はどのような改革を行ったのだろうか？ 【繰り返される要求と改革】
- 日本では、元禄文化以降、だれを中心とするような文化を築き上げてきたのだろうか？ 【江戸の庶民が担った化政文化】

概念的・本質的知識に関する問い  
説明的知識に関する問い

分析的知識に関する問い  
分析的・記述的知識に関する問い

(何ができるようになればよいか)  
近世の特色を、産業や政治、対外関係を踏まえて、歴史的事象を根拠に説明することができる。

【両単元をつなぐ問い】 A⇒Bへ  
江戸幕府はどのようにして平和で安定した社会を築き、また、それにも関わらずなぜ滅亡したのだろうか？

【単元を貫く問い】 歴史的分野B  
平和で安定した社会を築いた江戸幕府はどのようにして滅亡していったのだろうか。

- 江戸幕府が滅亡したのはどのようなことが原因だったのか
- 【対外関係の面より】
    - ・欧米列強によるアジア進出と対日開国要求があったこと。
    - ・開国による国内の混乱があったこと。
  - 【産業の面より】
    - ・貨幣経済の浸透により、農業の基本とする社会で産業が多様化してきたこと。
    - ・産業の発展により諸藩が財政の立て直しに成功したこと。
  - 【政治の面より】
    - ・産業面での変化に対応できずに、財政難を悪化させたこと。
    - ・幕府の力が衰えた中で、新たな世の中を希求し、尊王攘夷運動が激化したこと。

【平和で安定した世を築いた江戸幕府】 歴史的分野A  
江戸幕府は経済力を土台とした軍事力を背景とし、諸藩や中世の権門の経済力や軍事力を巧みに削ぐ法令をだし、周りとの経済力と軍事力を相対的に強化することによって、支配体制を確立し、平和で安定的な世の中をつくりだした。

【江戸幕府の滅亡】 歴史的分野B  
産業構造の変化による経済力の弱体化と諸藩の経済力の強化により、幕府と諸藩との経済格差がなくなってきた。さらに、欧米列強の東アジア進出により、鎖国体制がゆらぎ、幕府の軍事力が相対的に弱体化してきた中で、諸藩が経済力と軍事力をつける中で、幕府が滅亡に向かっていった。

【単元を貫く問い】 歴史的分野A  
江戸幕府はどのようにして平和で安定した社会を築いたのだろうか。

- 江戸幕府はどのようにして平和で安定した世の中を作り上げた？
- 【政治の面より】
    - ・武力による制圧ができる絶対的な軍事力があった。
    - ・執政官が代替わりしても崩れない政治のしくみが作られた。
    - ・武断政治から文治政治への移行がなされた。
  - 【対外関係の面より】
    - ・融和的な海外政策を行った。
    - ・貿易の利益独占を実施した。
  - 【産業の面より】
    - ・民衆の生活が安定する経済体制がつくられた。
    - ・身分を決めた支配社会構造が強化された。

【社会の変化と幕府の対策】  
急激に商業が発達し、庶民の経済活動が活発になり、庶民までもが文化を楽しめる世の中へとなっていった。一方で、幕府の財政は悪化する中で、農業や商業を重視する改革に着手するも、百姓一揆や打ちこわしの発生が増加したり、貨幣経済の発達によって貧富の差が生まれつつある中で、社会問題の解決に至らず、幕藩体制が揺らぎ始めた。

【近代国家の歩みと国際社会】  
支配的な君主制から、市民主体の社会への変革である市民革命と、生産過程に機械を導入することによる効率化に伴う社会の変革である産業革命との二重革命により、近代化を果たした欧米諸国が強い軍事力と経済力を背景に、生産の際の原料の確保と市場を求めて世界進出する中で、インドを拠点としてアジアへ進出を加速させていった。その中で、産業革命を成功させ、近代国家を樹立したアメリカが、日本に開国を要求してきた。

【開国と幕府の終り】  
圧倒的な武力と経済力をたてに幕藩体制の頂点に立ち全国を統治してきた幕府は、貨幣経済の浸透から来る改革の失敗や外国への対応の失敗を重ねたことで、経済力と武力を高めてきた諸藩を抑えることができず、幕府の威信は失われ、幕府の滅亡につながった。

【産業や交通網の発達】  
米の生産量増加に伴い、人々の生活が安定し、特産物の生産が各地で行われた。それに伴い、交通網が整備され、全国で特産物の取引が活発になり、金融が発達し、都市や各地の産業の発達につながった。

【産業の発展と貨幣経済】  
急激な商業の発達に伴い、特産物を商品作物として積極的に生産するようになった。その結果、商品作物の取引や手工業の発達により、農村でも貨幣経済が広がり、農民の間でも格差が生じた。

【幕府の政治改革】  
貨幣経済の農村への広がりや自然災害などによる都市や農村の変化により、近世社会の基礎が動揺していく中で、幕府は財政の立て直しと、百姓の要求や飢饉の対策に取組んだが、失敗に終わり、幕藩体制が揺らぎ始めた。

【市民革命】  
支配的な社会構造から市民が主権として議会を通じて国家を運営し、基本的人権の尊重や人民主権の考えに基づく市民社会への実現へとつながった。

【産業革命】  
機械の導入により大量生産・大量輸送が可能になった結果、資本主義が確立し、利益を追求する世の中へと変わっていった。

【世界進出する欧米諸国とアジアの動き】  
工業化を果たした欧米諸国が安い原料の入手先と工業製品の販売先を確保するためにアジアへ進出をし、植民地支配を拡大していった。それに対して、アジア諸国は抵抗する形で対応していった。

【開国とその影響】  
社会の動揺を安定させることができなかつた幕府が開国したことにより、経済と政治に混乱を生じさせた。その結果、幕府の立場が大きく揺らぎ、諸藩が力をつけたことで滅亡へと導かれた。

攘夷に失敗した薩長両藩を中心に倒幕運動が行われた。

アメリカの開国要求を受け入れるも、国内の経済に混乱を招き、尊王攘夷の考えも出てきて、政治にも混乱をきたした。

幕府は改革に着手するも、大名や商人からの反発を受け失敗に終わった。

幕府はアヘン戦争での清の敗北を受けて、「鎖国」の方針が揺らぎ始めた。

幕府はアジアへ進出してきた異国船を打ち払う命令を出していたが、清の敗北を受けて、方向転換をした。

東アジアでは自由な貿易を求めて接近する欧米諸国に対して備えをした。その中で清がアヘン戦争でイギリスに敗北し、不平等条約を締結した。

イギリスに支配されていたインドでは、その支配への不満のため、民衆が反乱を起こした。

工業化を果たした欧米諸国は、原料の確保と工業製品の輸出先を求めてアフリカやアジアなどに進出した。

近代国家は、徴兵制による「国民軍」と教育が整えられ、産業革命の影響もあり、強い軍事力と経済力を手に入れた。

工業化をすすめた各国が力をつけ、自由と平等の考えの下に成立した「国民」国家である近代国家が成立した。

機械の使用によって、大量生産と大量輸送が可能となり、利益を追求し、自由な生産活動を行う、工業中心の社会へと変化した。

身分制に基づく社会から、基本的人権の尊重と人民主権の考えに基づく市民社会へと変わっていった。

国王や皇帝が支配する社会から、市民革命がおこり、市民が主権者として議会を通じて国家を運営する社会へと変化した。

日本のあり方を見直したり、西洋の知識を取り入れたりする動きが起こり、町人や百姓の間でも教育が盛んになり、力をつけた。

松平定信は財政の立て直しや飢饉の対策を行う寛政の改革を行った。一部は成功だったが、一部は失敗に終わった。

田沼意次は年貢だけに頼らず、商業の力を利用して直す改革を進めたが、結果失敗に終わった。

貨幣経済の浸透や飢饉などによる貧富の差の拡大により、百姓一揆や打ちこわしが起こり、深刻な問題となっていた。

徳川吉宗は幕府の収入を増やし、実生活に基づく改革を行った。

問屋制家内工業が広がる中で、商品作物の生産が増大した。

特産物が商品作物として栽培されるようになり、その売買する過程で貨幣経済が農村に浸透する中で、農民の貧富の差が広がった。

東西間の取引の増大により、金融が発達した。その中で、利益を独占する株仲間が作られ、商人の力が増大していた。

江戸は政治の中心、京都は古代からの都や文化の中心、大阪は商業や経済の中心として三都が発展した。

交通網の整備により特産物や年貢米があつまる地域で都市が発展した。

五街道などの陸上交通や西回り航路やなどの水上交通が整備され、特産物が全国で活発に取引されるようになった。

貿易統制による日用品不足や、優れた技術の伝搬、人々の生活の安定に伴う需要の高まりにより、特産物の生産が盛んになった。

急速な人口増加から新田開発や農具の開発に注力した結果、耕地面積と米の生産量が増加し、農民の生活が安定した。

概念的・本質的知識

説明的知識  
原因↓結果

分析的知識  
どのように

分析的・記述的知識

問いの構造図【歴史的分野 単元B】

(何ができるようになればよいか)  
近世の特色を、産業や政治、対外関係を踏まえて、歴史的事象を根拠に説明することができる。

【両単元をつなぐ問い】A⇒Bへ  
江戸幕府が平和で安定した世の中を作り出したといえるのはなぜか。また、それにもかかわらず、なぜ滅亡をしてしまったのだろうか？

【単元を貫く問い】歴史的分野B

なぜ江戸幕府は滅亡したのだろうか？

江戸幕府が滅亡したのはどのようなことが原因だったのか

【対外関係の面より】

- ・欧米列強によるアジア進出と対日開国要求があったこと。
- ・開国による国内の混乱があったこと。

【産業の面より】

- ・貨幣経済の浸透により、農業の基本とする社会で産業が多様化してきたこと。
- ・産業の発展により諸藩が財政の立て直しに成功したこと。

【政治の面より】

- ・産業面での変化に対応できずに、財政難を悪化させたこと。
- ・幕府の力が衰えた中で、新たな世の中を希求し、尊王攘夷運動が激化したこと。

【平和で安定した世を築いた江戸幕府】歴史的分野A

江戸幕府は経済力を土台とした軍事力を背景とし、諸藩や中世の権門の経済力や軍事力を巧みに削ぐ法令をだし、周りとの経済力と軍事力を相対的に強化することによって、支配体制を確立し、平和で安定的な世の中をつくりだした。

【江戸幕府の滅亡】歴史的分野B

産業構造の変化による経済力の弱体化と諸藩の経済力の強化により、幕府と諸藩との経済格差がなくなってきた。さらに、欧米列強の東アジア進出により、鎖国体制がゆらぎ、幕府の軍事力が相対的に弱体化してきた中で、雄藩が経済力と軍事力をつける中で、幕府が滅亡に向かっていった。

【単元を貫く問い】歴史的分野A

江戸幕府が平和で安定した世の中を作り出したといえるのはなぜだろうか？

江戸幕府はどのように平和で安定した世の中を作り上げた？

【政治の面より】

- ・武力による制圧ができる絶対的な軍事力があった。
- ・執政官が交替わりしても崩れない政治のしくみが作られた。
- ・武断政治から文治政治への移行がなされた。

【対外関係の面より】

- ・融和的な海外政策を行った。
- ・貿易の利益独占を実施した。

【産業の面より】

- ・民衆の生活が安定する経済体制がつくられた。
- ・身分を決めた支配社会構造が強化された。

【社会の変化と幕府の対策】(教科書 P126~129、134~141)  
平和で安定した世の中で、なぜ改革をする必要があったのだろうか？

【欧米諸国における「近代化」】(教科書 P148~159)  
この時代、なぜ欧米諸国の政治や社会で、近代化が進んだのだろうか？

【開国と幕府の終り】(教科書 P160~167)  
欧米諸国が来航する中で、なぜ幕府の力が弱体化し、幕府を倒そうという動きが出てきたのだろうか？

【産業や交通網の発達】  
江戸時代の産業と交通網はどのように関係し、発達していったのだろうか？

【産業の発展と貨幣経済】  
急速な産業の発達に伴い、農村社会にどのような変化があったのだろうか？

【幕府の政治改革】  
幕府の政治改革は幕藩体制にどのような影響をもたらしたのだろうか？

【市民革命】  
欧米諸国では、どのように市民社会を実現していったのだろうか？

【産業革命】  
産業革命により、欧米諸国の世の中はどのように変化していったのだろうか？

【世界進出する欧米諸国とアジアの動き】  
近代化を果たした欧米諸国の世界進出は、進出先でどのような影響を与えたのだろうか？

【開国とその影響】  
欧米列強のアジア進出により開国した日本にはどのような影響があったのだろうか？

- 人口増加と農民生活の安定にはどのような関係があるのだろうか？
- 【安定する社会と諸産業の発達】
- 特産物の生産が盛んになる背景には何が合ったのだろうか？
- 【安定する社会と諸産業の発達】
- 交通網の整備が産業にどのような影響を与えたのだろうか？
- 【各地を結び陸の道・海の道】
- 交通網の整備が特産物の集まる地域にどのような影響を与えたのだろうか？
- 【各地を結び陸の道・海の道】
- 地域の発達の中でどのような都市が現れたのだろうか？
- 【各地を結び陸の道・海の道】
- 交通網の整備が特産物の集まる地域にどのような影響を与えたのだろうか？
- 【各地を結び陸の道・海の道】
- 産業の発展により、貨幣経済が浸透した農村ではどのような影響があったのだろうか？
- 【貨幣経済の広まり】
- 産業の発展が農村に浸透し、農村はどのように変わったのか？
- 徳川吉宗はどのような改革を行ったのだろうか？
- 貨幣経済の浸透や飢饉などによる貧富の差の拡大が、どのような問題を引き起こしたのだろうか？
- 【繰り返される要求と改革】
- 田沼意次はどのような改革を行ったのだろうか？
- 【繰り返される要求と改革】
- 松平定信はどのような改革を行ったのだろうか？
- 【繰り返される要求と改革】
- 日本では、元禄文化以降、だれを中心としたような文化を築き上げてきたのだろうか？
- 【江戸の庶民が担った文化】
- 市民革命により、主権がどのように変化していったのだろうか？
- 【市民革命の始まり】
- 市民が主権を握っていく中で、人々の権利はどのように変わっていったのだろうか？
- 【人権思想からフランス革命へ】
- 機械を使用する世の中になり、どのような社会に変化していったのだろうか？
- 【産業革命と資本主義の成立】
- 工業化をすすめた欧米列強はどのような国家を成立させたのだろうか？
- 【産業革命と資本主義の成立】
- 近代国家になり、どのような力をつけたのだろうか？
- 【欧米諸国の近代国家建設】
- 工業化を果たした欧米諸国は、どのような行動をとったのだろうか？
- 【世界進出を目指す欧米諸国】
- イギリスの進出により、インドでは何が起こったのだろうか？
- 【世界進出を目指す欧米諸国】
- 幕府は外国船に対する方針は、アヘン戦争の結果を受けて、どう変化したのだろうか？
- 【日本を取り巻く世界情勢の変化】
- 中国では、アヘン戦争の敗北により、イギリスとどのような関係になったのだろうか？
- 【日本を取り巻く世界情勢の変化】
- 飢饉や財政悪化に対して、諸藩はどのような改革を実施したのだろうか？
- 【諸藩の改革と幕府の衰退】
- 水野忠邦による改革は、幕府にどのような影響をもたらしたのだろうか？
- 【諸藩の改革と幕府の衰退】
- アメリカの開国要求を受け入れる中で、日本にどのような影響をもたらしたのだろうか？
- 【黒船来航の衝撃と開国】
- 改革を成功させた雄藩はどんな行動に移ったのか？
- 【江戸幕府の滅亡】

概念的・本質的知識に関する問い

説明的知識に関する問い

分析的知識に関する問い

分析的・記述的知識に関する問い